

ふくおか健康づくり県民会議 設立趣意書

我が国は、保健衛生活動の充実や医学の進歩などにより、世界でも最高水準の長寿国となりました。

このような中、生涯にわたり、元気で健康に自分らしく暮らしていけることは、県民一人ひとりの望みであり、それが実現できる社会にしていくことが私どもの願いであります。

そのためには、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延ばし、平均寿命と健康寿命との差をできる限り短くすることが重要であり、県民一人ひとりが自らの健康をもっと大切にし、健康の維持・増進を意識して生活していくことが必要です。

その際、具体的には、がんをはじめ脳卒中や心疾患、糖尿病といった生活習慣病の予防や介護予防のため、特定健診やがん検診を受診し、食生活においても野菜を多く、塩分を控えめにし、また、日ごろから運動習慣を持つことなどが求められます。

一方で、本県における健診の受診率、食生活や運動習慣など生活習慣の改善は決して十分ではなく、県民一人ひとりに健康づくりの取組みが浸透しているとは言えない状況にあります。

このため、地域や職場など様々な主体が横のつながりを持ち、社会全体でいろいろな角度から県民に働きかけを行うことによって、改めて県民一人ひとりが健康づくりを自分の問題として捉え、健（検）診の受診や食生活の改善、運動習慣の定着といった具体的な健康づくりの取組みを行っていくことが必要です。

また、国、県、市町村が縦のつながりを持ち、それぞれの役割を分担しながら、総合的で厚みのある取組みにしていくことが重要です。

このような観点から、保健・医療関係団体、経済団体、企業、大学、マスコミ、地域団体など様々な団体及び国、県、市町村から成る「ふくおか健康づくり県民会議」を設置し、構成団体が一体となって大きな広がりを持った「県民運動」として健康づくりを推進し、県民がその健康寿命を延ばし、生涯にわたり元気でいきいきと暮らせる福岡県をつくってまいります。

平成30年8月10日